

# 畿央大学後援会だより

発行：畿央大学後援会  
2017年9月1日  
第18号



## ご挨拶

畿央大学後援会 会長  
前垣 昇司

いつまでも暑さが去りやらぬ毎日ですが、いかがお過ごしでしょうか。

会員の皆様におかれましては、日頃より後援会の活動につきましてご理解ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

この度、新しく後援会会長に就くことになりました前垣昇司と申します。

まずは、本学にご入学されました新入生の皆様、保護者の皆様、改めましておめでとうございます。

保護者の皆様におかれましては、夢の実現に日々一生懸命取り組む我が子の姿に、胸が熱くなるとともに、その成長を実感されておられることでしょう。ご家庭での温かい支えがあるからこそ、学生は落ち着いた気持ちで勉強・サークル活動・ボランティア活動等に全力で打ち込むことが出来るのだと思います。今後もご家庭におけます温かいご支援をよろしくお願いいたします。

本学では、教育・健康科学と幅広い領域において、経験豊富な先生方が一人ひとりの心に寄り添いながら「個」に応じた熱心な指導をしてくださる学習環境が整っています。

また、キャリアセンターや教授・公務員対策室など手厚く就職についてのアドバイスをしてくれるところもあります。このような素晴らしい環境の中で、夢の実現・社会での活躍に向け、必要なライセンス取得や採用試験合格へのたゆまぬ努力と熱い情熱を注いでいる学生の姿が多く見受けられます。そのような学生が本学で大きく成長し、立派な社会人となるために、大切な後援会会費を活用し、教育事業を支援していきたいと思っております。

更に本年度より新事業として、学生の皆様が魅力ある大学生活を送れるよう支援を行ってまいります。

今後とも、後援会活動への皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

## ご挨拶

学校法人冬木学園 理事長  
畿央大学 学長  
冬木 正彦



後援会の皆様には、畿央大学の教育活動に対し日頃から温かいご理解とご協力をいただき有難うございます。

畿央大学は、資格取得や就職に強い大学として関西では評価が定着しており、さらに最近では医療や教育の現場での卒業生の活躍により社会に貢献できる良い人材を送り出しているということで、畿央大学の教育についても関心を持たれています。

学生全員に大学からタブレット型のPCを貸与し、学生には「操作は教えない」というユニークな方針でICT活用能力の育成をめざす教育もその一つです。スマートフォンなどを日常的に使っているためタブレット型PCの操作には学生はすぐに対応できます。操作できるだけでなく、その背後で何が起きているのかに興味を持って自ら能動的に見出すことができるように、1回生の全学共通科目にて担任者のグループで相談して授業を組み立てています。

学ぶ姿勢を受身的から能動的に変えることは容易ではありませんが、その転換をなるべく早い時期に終え、専門知識と技術をより深く理解し、生涯学び続けられる姿勢を修得して欲しいと願っています。さらに、現場での実習や地域連携のプロジェクト、海外研修やインターンシップなどを経験することにより、実務的知識はもとより、社会に関する関心と将来的に自らが果たせる役割を意識しながら幅広い教養を身につけてほしいと考えています。

学生が学ぶ姿勢を転換し自立していくこのような学修の過程を、私ども教職員は学生一人ひとりに真剣に向きあい支援することで、畿央大学の素晴らしい教育環境を作り上げています。

後援会からもこのような教育の実現には大きなご支援をいただいています。教育活動を始め各分野に対していただいている助成は学生の学びへの動機を高めるのに、そして環境整備へのご協力は綺麗で快適に学べるキャンパス維持にとって不可欠のものです。後援会の皆様にお礼を申し上げるとともに引き続きご支援をお願いいたします。

CONTENTS	ご挨拶..... P 1・2	健康科学部 看護医療学科..... P 7
	保護者懇談会・後援会総会..... P 2・3	健康栄養学科..... P 8
	基調講演(要旨)	人間環境デザイン学科..... P 9
	『青年の心理と親子関係』	教育学部 現代教育学科..... P10
	教育学部現代教育学科 教授 粕井 みづほ... P 4・5	担任からのメッセージ..... P11~14
	学科のページ	アンケートへのご協力ありがとうございました..... P15
	健康科学部 理学療法学科..... P 6	第15回畿央祭・授業日カレンダー..... P16

### ●畿央祭(10/21・22) 参加会員に補助が出ます

畿央祭が10月21日(土)22日(日)の2日間にわたって開催されます。学生の実行委員会が4月から本格的にたちあがり、すでに着々と準備を進めています(関連記事16頁)。その様子は、本学ホームページでご覧いただけます。

後援会では、畿央祭に参加された会員の皆さまに金券1,000円を補助しています。9月末ごろに詳しい畿央祭案内チラシ等とあわせて当日の引換券を送付します。畿央祭に参加され、日ごろとはまた違った学生の一面を発見されることも多いようです。皆さまのご参加をお待ちしております。



## フェアプレー の精神

健康科学部長  
健康科学研究科長

金子 章道

畿央大学の教育に対し、後援会会員の皆様からは日頃より深いご理解と多大なご支援をよせていただいていることに深く御礼申し上げます。

畿央大学では教育の質の向上を目指して毎年FD研修会を開催しております。これは全教員を対象とした研修会で、その時々に応じて外部の専門家に講演をお願いしたり、様々な教育上の問題点を教員同士で議論しあったりする会です。先日行われた今年のFD研修会では『試験における不正行為』が取り上げられ、なぜ不正行為が発生するのか、教員はこれにどのように対処すべきかなどの議論が交わされました。

私自身は期末試験など大学教育におけるテスト、試験は運動競技の競技会における選手たちの戦いに似ていると考えています。運動競技においても様々な不正行為が厳しく取り締まられています。その精神は競技者たるものは平等な立場に立ちフェアプレーの精神に基づいて競技を行うべきだという考え方です。ですから、ドーピングによって筋力の増強を図ったり、八百長行為はフェアプレー精神に反しているというわけです。試験も同じで学生全員がそれぞれで全力を出して学習した結果を競い合うというものだと思います。仮に不正行為によってその試験で良い点数をとっても、おそらく本人は後味の悪い気持ちが残ることでしょう。フェアプレーの精神に立って正々堂々と試験を受けて欲しいと思います。

## 子どもの世界から 遠く離れて

教育学部長  
教育学研究科長

前平 泰志



おとなはだれもはじめは子どもだった。

しかし、そのことを忘れずにいるおとなは、いくらもない。

サンテグジュペリ「星の王子様」

もうかれこれ、10年くらい前のことになりますが、ある地域での催し物のひとつとして、子どもたちどうしの「物々交換ごっこ」を、私が企画したことがあります。そのなかで、私を大変驚かせ、衝撃を受けた出来事がありました。それは、自分にとって一番大切にしているものだから、他人に使ってもらいたいと思って自分の「宝物」を出品する子どもがいたことです。「ああ、自分はなんと子どもから遠く離れてしまったのだろう、永遠に子どもの世界に戻ることは不可能なのだ」と、悔しさとほろ苦さがないまぜになって複雑な気持ちを味わいました。「おとな」になっていくということは、子どもの世界からどんどん遠ざかっていくことなのだ、と。

本学の教育学部の学生は、学部の性格上、子どもの教育に携わろうとする職につくものが多く、それは、当然悔しさやほろ苦さもあわせ持つ「おとな」として子どもと向き合うことが期待されているわけです。子どもからおとなの途上にある学生たちにとって、子どもであったことを忘れずに、しかも、おとなとしての矜持を持って、子どもに向き合い、教え、育てていく営みは、困難ではありますが、やりがいのある仕事です。

これからも、学生たちの成長の過程を皆様のあたたかいまなざしで見守っていただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 第12回 保護者懇談会を 開催しました。

7月1日(土)午後1時より保護者懇談会が開催されました。今年で12回目を迎え



た保護者懇談会は、暑いなか全国各地から約360名の保護者様にご参加いただきました。

全体会に先立って行なわれた個別相談会では、保護者の皆様から成績や進路に関すること、学校での様子など、さまざまなご相談をいただきました。

冬木記念ホールで行なわれた全体会では冒頭に冬木学長、清水後援会会長よりご挨拶があり、引き続いて、教育学部現代教育学科の粕井みづほ教授より基調講演『青年



の心理と親子関係』をお話し頂きました(講演要旨は4, 5頁をご参照ください)。参加者からは、「親世代と今の大学生の違いを分析していただき、わかりやすかった」「大学生の対人(友人)関係が昔と比べると少しずつ変化している状況を教えていただい



た。子ども達の人間関係についても参考になります」 「子どもへの見方、対応を改めようと思った部分を見つけられました」 「大学生の保護者として心がけることを教えていただきありがとうございました。すぐにできるかはわかりませんが、心がけたいと思います」 「見守ると規範を示す。親としての難しい課題がありますね」 など、たくさんの感想をいただきました。

全体会及び後援会総会の後は学科別に分かれ、学科説明会を開催しました。各学科の教員から学修内容や普段の学生生活についての説明を行ない、「子どもが大学で学ばせていただいていることがわかりよかったです」 「講義内容やゼミでの活動内容が良くわかりました」 「学生の具体的な姿をブラス



面でもマイナス面でもお話しして頂き、しんどい思いをしながら頑張っているんだとうれしく感じられました」などの感想を頂きました。学科別説明会のあとは、それぞれの学科が使用する実習室・実験室などをご覧頂きながら懇親会が開かれるカトリア食堂に移動して頂きました。

懇親会では、保護者の皆様同士や保護者と教職員との交流を深めました。この時間



にも大学生活のことなど、色々な情報交換が行われていました。

保護者の皆様から頂いたご意見を参考に、来年度の保護者懇談会を企画してまいります。また秋の畿央祭では、昨年度実施しました保護者向けの一般企業就職や教員採用試験の状況の説明会も予定しています。

これからも、多くの保護者の皆様のご参加をお待ちしております。



## 平成29年度 後援会総会を開催、新規2事業を採択

保護者懇談会の全体会において、畿央大学後援会の総会を開催しました。

総会では、後援会役員会にて検討された議案について審議を行いました。まず、平成28年度の事業報告と決算報告を行い、その後の監査報告のあと、28年度事業と決算について審議、承認されました。

次に、平成29年度事業計画、予算案が審議されました。29年度事業計画では、後援会として実施する新規事業が提案されました。新規事業は、家計急変時に奨学金を支給するもので、学費を負担している父母もしくは保証人様が死亡もしくは重度後遺障害を生じた場合に支給されます（詳しくは学生支援センターで要項を確認してください）。また、学生が自ら企画立案する新たな目標に向かった活動に対して支援する学生チャレンジ事業奨学金を提案し、2種類の後援会新規事業は承認されました。

他の事業予算では、定員増による畿央祭参加者の増加を想定し会議費を増額、また



卒業関連の予算につきましても増額としています。

また、施設・設備助成では後援会の事業として進めておりますキャンパスの学内緑化事業と施設助成を引き続き積極的にすすめます。海外での学修を希望する学生の支援を行うため、海外研修奨励金を増額するなど、今年度予算の特徴が説明されました。その他の項目につきましても、予算案が提案され、事業計画・予算案は承認されました。

役員会の改選では、役員会で推薦された前垣会長をはじめとする18名の役員と3名の



### 畿央大学後援会とは

畿央大学後援会は、畿央大学の学生の父母または保証人をもって構成される団体です。学生の教育や厚生に必要な施設設備の充実、研究活動やクラブ活動などに必要な援助を行うことによって学生生活の充実と畿央大学の発展に貢献することを目的としています。また、会員相互の連携をすすめるとともに大学と父母または保証人をつなぐ役割を担って、保護者懇談会や広報の取り組みをすすめます。

平成29年度 畿央大学後援会役員

役職	役員氏名	学生の所属等
会長	前垣 昇司	人間環境デザイン学科4回生
副会長	竹中 秀司	現代教育学科4回生
副会長	岡崎 亜矢子	現代教育学科1回生
会計	荒木 聡子	現代教育学科3回生
会計	小松 美佐	学生支援センター職員
書記	福本 ゆみ	現代教育学科2回生
書記	山本 泰	学生支援センター職員
委員	遠藤 孝児	現代教育学科4回生
委員	西 秀人	現代教育学科4回生
委員	濱中 誠	現代教育学科3回生
委員	森本 浩夫	現代教育学科4回生
委員	高下 一志	理学療法学科2回生
委員	杉山 多加	人間環境デザイン学科2回生
委員	新 昌弘	人間環境デザイン学科1回生
委員	福原 亜以子	健康栄養学科1回生
委員	青山 英一	現代教育学科2回生
監事	松本 吉央	現代教育学科4回生
監事	泉岡 美亜	看護医療学科1回生
顧問	冬木 正彦	学長
顧問	金子 章道	健康科学部 学部長
顧問	前平 泰志	教育学部 学部長

顧問が承認されました。本年度の後援会役員は表のとおりです。会員の皆様のご協力を得ながら活動を進めていきたいと思っております。

※後援会役員に興味・ご関心のおありの方は畿央大学学生支援センターまで遠慮なくお問い合わせください。

# 『青年の心理と親子関係』

教育学部現代教育学科 教授 粕井 みづほ



今日は「青年の心理と親子関係」というテーマでのお話です。色々な調査研究のデータをご紹介しながら、現代の青年の心理的特徴、親世代との違い、現代の親子関係の特徴について見ていきたいと思います。そして、大学生の保護者はどのように子どもに対応すればよいのかについてお話したいと思います。

## 現代の青年の特徴「深い人間関係を避ける」「自己肯定感が低い」「自己主張が弱い」

東京の大学の相談室を訪れた学生についての調査があります。2002年と2012年を比較して、対人関係について大きく変わったところを見て頂きましょう。「友達をたくさん作るように心がけている」や「友達と意見が合わなかったときには納得いくまで話し合いをする」が減りました。そして「友達というより一人である方が気持ちが落ち着く」が大きく増えているのがわかります。これは、相談室を訪問した学生についての調査ですが、青年全体の傾向が変化してきていると推測できます。

別の項目についても見てみましょう。東京と神戸での2002年～2012年の比較調査です。近年、小学校・中学校での教育において、自己肯定感を高める、ということが非常に大事だといわれているのですが、この調査では「自分には自分らしさがある」「今の自分が好きだ」の項目の値が低く、つまり、自己肯定感が低くなってきている傾向がわかります。また、「意識して自分を使い分けている」「自分の中には上辺だけの演技をしている部分がある」「大切な事を決める時に自分の中に複数の基準があって困ることがある」こういった項目が高くなっています。「どんな場面でも自分らしさを貫くことが大切」は低くなっています。すなわ

ち、現代の青年は、他者と関わりたい気持ちはある一方で関わることによる葛藤は避けたい、自己肯定感が低い、場面によって自分を使い分ける、自己主張が弱い、といった特徴があり、ますますその傾向が強くなってきている、と言えます。

## 親世代と比較して、青年は「他人の目が気になる」「成果につながらない努力は無駄と考える」

では次に、青年と親世代との違いについて別の調査をもとに見ていきたいと思えます。この調査は、16歳から29歳を青年としています。比較対象はその上の30歳から49歳の世代です。今日来られている方にもこの年代の方がいらっしゃると思います。まず青年と親世代の違いで大きなものは視線の感じ方ですね。「親しい人から自分がどう思われているかが気になる」「親しい人以外の世間の人から自分がどう思われているかが気になる」いずれも青年の方がとても高いです。私くらいの歳になりますと「自分がどう思われているかなんてどうでもいいわ、私は私らしく生きたいわ」と開き直っている人も多いと思いますが、他人の目が気になるのが青年期の大きな特徴ですね。もう一つ目立つのは、若い世代の方が「成果につながらない事は努力しても意味がない」という考え方をする、ということです。親世代との比較だけではなく、欧米・韓国の青年との比較でも、「うまくいかかわからないことにも意欲的に取り組む」人の割合は、この調査では日本の青年が一番低いです。

## 現代の親子関係は「仲良し親子」

では、現代の親子関係の特徴とはどのようなものでしょうか。1970年～2000年の内閣府の調査や、2004年～2009年のベネッセの調査などをもとに、まず父親との関係がどのように変わってきているかについて見てみましょう。大きな特徴は、会話の頻度が上がってきている、ということです。学校や友達のこと、勉強や進路のことなどいろいろな話題について話していることも分かります。子どもから見た父親とは「頼りになる」「気持ちを分かってくれる」存在で、「反発を感じる」「口うるさい」

という意見は減ってきています。母親との関係は、父親との関係以上に会話の頻度が上がってきています。母親は父親と比べると「口うるさい」ようではありますが、「頼りになる」「気持ちを分かってくれる」は父親より少しだけ上回り、それぞれ90%を超える子どもが「あてはまる」「まああてはまる」と回答しています。子どもは親を「勉強を教えてくれる」「褒めてくれる」「叱ってくれる」「相談にのってくれる」と肯定的に捉えており、その傾向は強くなって来ています。子どもは家庭生活について「楽しい」と感じていて、2014年では「とても楽しい」「まあ楽しい」をあわせて99%にまで増えています。

子育てについて、親の考え方はどのように変わってきているのでしょうか。「子供を良くするには厳しい訓練やしつけが必要」「父は厳しく母は優しく接することが理想的」という考え方の割合はあまり変わっていませんが、「こどもの自発性をできるだけ尊重すれば健全に成長する」という考え方の割合は増えてきています。子どもの方でも、「保護者のアドバイスや意見に従うことが多い」「困ったことがあると保護者が助けてくれる」よりも「なにごと自分自分で決めることが多い」「困ったことがあると自分で解決する」の方が4：6の割合で多いようです。

現代の親子関係の特徴をまとめてみると、子どもは親とよく話をしており、親を頼りになる人として肯定的にとらえており、家庭生活を楽しんでいる。親は、子どもの自発性を尊重しようとしている。つまり、「仲良し親子」や「友達親子」といえるような親子関係です。

## 大学生の保護者のすべきこと①「見守る」

「仲良し親子」「友達親子」が増え始めたのは2、30年前からのことです。この親子関係については研究者の間で意見が分かれましました。「親に権威がなくなったことで親子関係が形成不全となっている」「反抗期に大人の規範や文化と衝突して成長する機会がないため成長が遅れる」といった意見と、「なんでも話ができる関係になったのは良いことであり、親と対立しなくても社会に存在する様々な葛藤を乗り越えることで成長できる」というような意見です。最近では、



親世代が変化してきていることもあり、「友達のような親子関係でよい」という考え方が主流になってきました。では「仲良い親子」の親としては、どのような姿が理想的でしょうか。「見守る」、「規範を示す」。この二つだと私は考えます。今は成人した長女がまだ高校生の頃、友達からかかってくる電話を私が取り次いだりしていたこともあって、娘の交友関係について大体は把握できていたものです。大学生にもなると、自分なりの世界ができます。それが当たり前なのです。子どもに秘密ができたり、親を拒否したりする、というのは自然なことです。中学生の頃の息子を朝起こす時、声をかけてもなかなか起きないのでピタと寄り添ったり頬を触ったりしました。触った途端、「何さわんねん！」と怒って起きますね。息子さんをお持ちのお母様など思い当たる節はないでしょうか。今は三十前になり二児の父にもなった息子ですが、たまに出張でうちの家に泊まりにきた時などこぞとばかりに同じことをしますと、怒りもせず薄目をあけて「何してんの母さん、いい加減にしいや」としか言いません。若い頃は親を拒絶する部分があって当然なのです。ですから親も子どもの事を100%知る必要はありません。子どもにとって、自分で解決できる問題は多いのです。でも放っておいてはいけないこともあるのです。例えば、友人関係の深刻な悩みです。あるいは、大学にあまり行っていない、アルバイトばかりしている、などです。そういった悩みや問題が、子どもたちの「秘密」になってしまうのは良くないことですが、日頃から細かいところまで把握しておくことが良い訳ではありません。子どもとの間に信頼関係を作っておく、ということが大事になってきます。勉強しているのかな、アルバイトばかりの生活になっていないかな、友人関係はうまくいっているかな、こういった事を気にかけておく。すなわち、見守る、という事が大事です。見守るということとは、見ていただけではなく、子どもを信じて子どもの心に寄り添う、ということです。例えば、子どもが浮かぬ顔をして帰ってくるなり自分の部屋に入ったとしましょう。大人でも、「今は誰とも話したくない」という気分の時もありますよね。そのような

時は無理に聞き出さずに「おかしな話だからちょっと待っててね」くらいの声をかけて、親が「気にかけてるよ」ということをそこで伝えておく。そして、話す気分になった時に「あなたのそういうところが悪い」とか「こうしたらよかったのに」などの説教はせず、ただ聞いてあげる、ということが大事だと思います。子どもの秘密の中にも健全な秘密と深刻な秘密があるのです。だから、健全な秘密はそのままにして、深刻な秘密は分かち合えるような信頼関係を作っておき、「気にかけてるからいつでも話してね」というメッセージを伝えることが大切になってきます。

### 大学生の保護者のすべきこと② 「規範を示す」

今の社会には若者に規範を示すものが少なくなった、とよく言われます。昔は、親は厳しく学校の先生も怖く、地域の中でもちょっと怖いおじさんやおばさんがいました。私が子育てをしている時の話ですが、近くに住む叔父が必ず週に一度はご飯を食べに来ていました。三人の子どもが定期試験の時などさっさとご飯を食べて部屋にもどって勉強しようとする、「お前ら、おじさんと勉強とどっちが大事やねん」と怒って部屋から引っぱり出すのです。理不尽ですね。理屈が通らないことも世の中にはある、という事を、私の子どもはこういったことで経験しているのです。色々な人がいる、色々な価値基準や規範がある、それが世の中なんだ、ということ子どもたちは学んでいた訳です。でも今はそれが少なくなりました。だからこそ、親は、昔以上にそういった規範を示す必要があります。親としては責任重大な時代です。親子の仲が良い、という事と、規範を示す、ということは決して矛盾しません。さきほど、見守ることが大切だというお話をしましたが、見守ることは「言わない」ことではないですよ。見ていておかしいな、と思ったことはどんどん言えばよいのです。タイミングよく、介入する事が大事だと思います。

また、親というのは子どもの心を理解し、受容してあげないといけないと思います。でも心を受容する、ということと、子どもの行動を受け入れる、ということは違います。私は幼児教育についての授業を担当していますが、授業の中で「小さな子どもへの接し方、青年への接し方、大人同士での接し方、すべて同じ原則があります」と伝えていました。それは「まず心を分かちあえる」「その次に意見



を言う」ということです。例えば、子どもさんがアルバイトばかりして大学にあまり行かなくなった、としましょう。「大学全然行っていないじゃない」と怒りたくなりますよね。でも、まず心をわかってあげて「大学よりもアルバイトの方があなたは居心地が良かったんだねえ」とか「楽しかったんだねえ」とか「大学行くのちょっと嫌になってきたんだろねえ」と言う。まずは、そういう気持ちでいるあなたという存在を私は受け入れてるよ、というメッセージを伝えるのです。その次に「でもね、大学に行ったらちゃんと勉強するのが大学生でしょ。だからやっぱり勉強しないと駄目よ。」と意見を言うのです。これはどんな人間関係においても通用することです。まず相手の心を受け入れる。心を受け入れるけれど行動をすべて受け入れるということではありませんから、「あなたのしたこの行動は駄目なのよ」ということを伝えるのです。「この行動は駄目なのよ」の部分をかちんと親子で整理する。そして、「今何をすべきなのか」について、できれば親子で考えてみる、ということが大事になると思います。親はこのように、価値観や道徳観、そして親自身の生き方や考え方を子どもに対して示していく。これが今の時代の親に求められていることだと思います。

今日のお話の中で、一つでも二つでも、これからの参考にしてください。ご清聴ありがとうございました。

### 粕井 みづほ

畿央大学教育学部現代教育学科 教授

家政学修士(大阪市立大学)

大阪市立大学大学院において児童学の研究に携わり、以来、「心理プログラムの実践・開発による子育て支援のフィールドワーク研究」「夫婦関係についてのコミュニケーション面からの研究」「コミュニケーションについての心理学的アプローチ研究」「近年の幼児の行動変化に関する研究」などのテーマにおいて幅広く研究を行う。本学での教育・研究活動のほか、行政における子育て支援プログラムへの参画、助言などにも精力的に取り組んでいる。



## メッセージ

健康科学部  
理学療法学科  
学科長

庄本 康治

保護者の皆さまには日頃より理学療法学科の運営・教育にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

平成12年の「理学療法士及び作業療法士



の需給の推計に関する意見書（厚生労働省）」では、「需要と供給は平成16年以降2から3年以内に均衡に達し、理学療法士、作業療法士が過剰になることが予測されることから、その養成が適切に行われるよう関係者への周知徹底が必要であると考えられる」との見解が示されていました。しかし、平成28年の理学療法士・作業療法士需給分科会（厚生労働省）では、「高齢化の進展に伴い、回復期の病床（理学療法・作業療法などのリハビリテーション治療を受ける病床）の充実等のため、今後理学療法士・作業療法士の需要が増加すると考えられる」「団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて、在宅医療や介護などの分野に

おいても理学療法士・作業療法士の需要の増加が見込まれる」と報告されています。また「平成12年以降、理学療法士・作業療法士の養成数は大幅に増加し、理学療法士・作業療法士の従事者数も増加傾向にあり、質の確保が重要である」とも指摘されています。

理学療法士の役割は益々重要となりますが、質の高さが要求されています。建学の精神である「徳をのぼす」「知をみがく」「美をつくる」を礎として、質を高めるために様々な工夫を実践したいと考えています。

## チューター制度を本格的に開始!

教員や臨床実習指導者は、図のように認知領域（知識）、精神運動領域（技術）、情意領域（興味、態度など）の3分野で学生や理学療法士を評価します。高い知識を持った学生でも、技術が低いと対象者にその知識が効果的に伝達しません。また、対象者から様々な情報を入手しようとしても、対象者と良い関係を構築出来ないと情報入手が困難となります。対象者が訴えている時には、視線を合わせ、顔色、顔色の変化を把握します。こういったことが出来ないと対象者との良い関係は構築出来ません。この部分は臨床実習指導者も特に重視しています。

このように、認知領域（知識）、精神運

動領域（技術）、情意領域（興味、態度など）の3分野への教育が重要となりますが、教育効果を上げるためには、教員と学生が良い関係にある事が前提となります。理学療法学科では、1年次生から3年次生まではクラス担任、4年次生からはゼミ担任による個別・少人数教育を開学時から実施してきました。しかし、さらに教員と学生との良い関係を強め教育効果を上げるために、従来の担任制に加えて一人の教員が5名前後の学生を担当（チューター）する少人数教育を2年前から試行的に実施してきました。2年間の試行・検討を経て、今年度からは前期に3年次生を対象に、後期は2年次生を対象として、教員によるチューター

理学療法士に求められる3つの領域

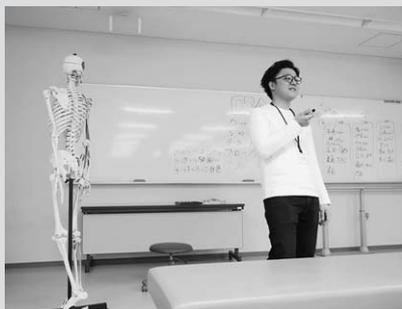


教育を実施しています。チューターによる教育内容は多岐にわたりますが、前述した3つの領域のいずれかにフォーカスを当てています。色々な内容、方法で実施していきます、更なる教育効果を上げたいと考えています。

## 理学療法研究会「SAPS」のOB・OG会を開催しました! 学生レポート

3月25日（日）に、SAPSのOB・OG会をお招きし、勉強会を開催しました。SAPSとは、Studying About Physical therapy by Studentsの略語で、学生による理学療法研究会の意味です。発足は2006年、OB・OG会は2010年から継続して開催しています。今回は「今きている!?最新の理学療法～教科書では学べない理学療法を知りたい!!!」というテーマでOB・OGに話題提供や実技実演を交えた発表をしていただきました。普段の授業だけでは絶対に聞けない、体験出来ないことをたくさん

学び、経験することが出来ました。発表後はディスカッションを行い、自分たちで新しい理学療法を考えました。参加者からは、「新しいリハビリテーションにつ



いて聞いて良かった」「実技が多かったのしかった!」「臨床的な場面に触れることが出来た!」などの声が上がりました。SAPSの「学生でも患者さんのためにできることは何かあるはず」という理念と、今回の経験と学びを生かして、学生生活がより良いものになればと思います。(3回生S)

## メッセージ

健康科学部  
看護医療学科  
学科長

河野 由美

<看護職として活躍  
できる人材育成を>

後援会の皆様には、本学の教育にご理解と多大なご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。さて、日本看護協会の2016年調査によると、



離職する看護師の全国平均は10.9%とされ、新人看護師離職率は全国平均7.8%、奈良県の平均は5.8%で新人看護師の離職率の低さは全国8位とされており。本学の学生も奈良県の病院に多数就職しておりますので、新人看護師離職率の低さに貢献しているかもしれません。本学では卒業生の離職に関しては正確なデータを取ってはおりませんが、卒業後1年以内に辞めた学生の話はあまり耳にしませんので、新人離職率はかなり低いと推察されます。折角、苦勞して看護師になっても、すぐに辞めてしまうのは残念な事だと思います。新人看護師の離職要因の一つに就職してからのリアリティショックがあるとされています。本学

では、看護職として活躍できる看護実践能力の高い人材育成を目指しており、卒業生が誇りとやりがいを持って長く看護職に携われることを願っています。そうした思いもあり、4回生で病院インターンシップ実習を実施するなど、リアリティショックが少しでも軽減できるようカリキュラムを工夫しております。また、今後は卒業生へのリカレント教育にも力を入れていきたいと考えております。本学で学んだ学生が社会に大きく貢献できるよう、建学の精神を礎としながらも、高い専門性と人間性を備えた専門職教育が行えるよう尽力していきたいと存じます。今後とも引き続き、皆様のご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。

## 海外インターンシップ(メルボルン)を実施!

2016年8月20日から29日まで、看護医療学科学生8人が豪州メルボルンのLa Trobe大学、Banksia Palliative Care Center、Alzheimer病協会に研修に行きました。5日間の研修スケジュールと休日などの自由時間は、La Trobe大学の日本語コースを専攻している学生達との交流、学内や市内の見学など現地ならではのアクティビティも大変充実した9日間でした。

た。このカリキュラムは、2016年度から学科独自のプログラムとして教員自らが企画し、短期留学や語学研修とは異なった国外の医療・看護・福祉施設の視察、バーチャルな認知症の体験、現地学生との交流や異文化コミュニケーションの実践を目的とした看護医療学科の特色のある学修内容を盛り込んでいます。



今年度(8月19日から8月28日まで)は11人の学生が参加します。事前学習として、オーストラリアの保健・医療・福祉、教育制度、わが国の終末期ケア、緩和ケア、認知症ケアなどをプレゼンテーションし全員で共有しました。さらに、学習した内容を英語表記にしてみる、自己紹介や英語でのプレゼンの練習をしてみるといった英会話をネイティブの先生とともに実践し、現地での研修がさらに有意義となるように準備を進めました。



## BLS(一次救命処置)プロバイダーコースを開催! 学生レポート

6月25日(日)に看護医療学科3名の学生と、学部でNCPR(新生児蘇生法)を開催している藤澤弘枝先生、ヒトの遺伝学を教えてくださいの小児外科医師である小角卓也先生の5名でタッグを組んで、「大切な人を守る実践活動」をモットーに、その実践活動の一環として、BLSプロバイダーコースを開催しました。

BLSプロバイダーコースは、アメリカをはじめ世界各国で開催されている医療専門家・救命のプロフェッショナルのための世界最高水準の一次救命処置(BLS:Basic Life Support)教育訓練プログラムです。

大人の傷病者に対する人工呼吸と胸骨圧迫(心臓マッサージ)、AEDの使い方に加えて、乳児と小児のCPR、気

道異物除去など、国際コンセンサスに基づいた一次救命処置(BLS)のほぼすべてを網羅しています。

9時にメンバーが集合し、準備して…講習して、片づけて、また、会議して…記念すべき第1回目を、10時から17時過ぎまで行いました。広報する時間もなかった中、看護医療学科2回生4名が参加してくれました!

これからも活動していきたいと思っておりますので、学部学科問わず、興味のある方は講習会に参加、もしくは、一緒にやって下さるメンバーも募集しています。(3回生T)



## メッセージ

健康科学部  
健康栄養学科  
学科長

小西 洋太郎

平素は保護者の皆様方には本学・本学科の教育にご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。本学科では4月、米田武志准教授(食品学)と吉田知可助手が着任されました。よろしくお願いたします。



さて、半年が過ぎ、1回生は入学後の不安や緊張からも解放され、ようやく大学生活に馴染んできた頃だと思いますが、大切なことは、学業・課外活動・アルバイトなど大学生活のスタイルを確立することだと思います。2回生はボランティア活動や地域連携活動にも自ら参加するなど自分らしさを見出す時期だと思います。サーフィンに例えると、自分が乗ろうとする波を見つけ、今まさに乗らんとするところでしょうか。3回生は、管理栄養士養成カリキュラムとして専門科目が増え、将来への基礎固めを意識する時期です。

しかし4回生になると状況が一変します。管理栄養士国試対策、卒業研究(選択科目ですが)、就職活動という現実が目前に立

ちはだかります。学生にとっては三方を敵に囲まれたような心境でしょう(しかし、幸いにも四面楚歌ではありません)。とくに就職については自分が決める立場ではないので、努力しても報われない場合があることを経験します。一つ一つが試練ですが、一つ解決されると視界が開けてくるものです。この辺りを、教職員は保護者の方々と連携をとりながら、彼らにとって強い援軍になるよう努めてまいりたいと思います。毎年7月に行われる保護者懇談会は絶好のコミュニケーションの場ですが、これに限らずご連絡・ご相談をお寄せくだされば幸いです。

## 授業レポート ～4回生臨床栄養コース推奨科目～「臨床栄養カンファレンス実習」

今年度より、経静脈・経腸栄養に特化した実習を開講しました。経静脈栄養とは点滴によって栄養を補給する方法、経腸栄養とは鼻に通したチューブや胃ろうから栄養剤を投与して栄養補給する方法です。管理



栄養士は食事のことが専門で、「え?それって薬剤師さんの分野じゃないの?」と思われるがちですが、補給の方法が違うだけで、これも立派な「栄養」の分野です。病院や施設では当たり前に行われていることです。医療現場の管理栄養士を目指している学生にとっては興味深い実習となったようです。

経腸栄養シュミレータを用いて実際に栄養剤の投与を行った時には、投与速度を調節して逆流防止を検討したり、胃ろうから投与する栄養剤を検討したりと、見て、触って、知識をしっかりと確認していました。また、模擬症例を用いて経静脈栄養や経腸栄養での栄養ケアプランの作成も行いました。「患者さんを救え!」を合言葉に、試

行錯誤を繰り返しながら、より良いプランになるようにと本番



さながら意見交換を行っていました。近年、医療現場ではチーム医療が推進されています。栄養の専門職として医療チームで参画するには幅広い知識とコミュニケーション力が求められます。今までに学んだ臨床栄養学の知識とともに、この実習を通して得た知識・経験は、将来グローバルな栄養管理のできる管理栄養士の基礎となってくれることと思います。

## 近鉄連携「近鉄SA(香芝岸和田)フードコートメニュー開発プロジェクト」

近鉄リテーリング株式会社との連携プロジェクトは、今年で4回目を迎えました。「サービスエリアで販売するメニュー」がテーマの今回は、2回生50名(13グループ)が参加しました。学生たちは香芝サービスエリアでお客様の年齢層や性別、調理現場などを見学し、授業の合間を縫って資料作成や試作を重ね、野菜を多く使う、奈良の食材を使うなど、それぞれが工夫を凝らしたレシピを完成させました。

7月8日のコンテストでは、審査員の方々から「今年は事前学習を行ない完成品のレベルが高い」と言われただけあって、急遽準グランプリが1枠増える嬉しい結果になりました。3グループの開発メニューが香芝、2グループが岸和田サービスエリアで10月中旬から販売されます。販売後は、「注文数」というお客様からの評価が待っていますが、多くの

お客様に喜んでいただけることを期待しています。

これら連携プロジェクトのレシピを大学ホームページ上に掲載していますが、5月より「クックパッド」での公開も始めました。学生の学びとアイデアが詰まったレシピを、多くの方に見ていただきたいと思っておりますので、お時間がある際には是非アクセスください。



## メッセージ

健康科学部  
人間環境デザイン学科  
学科長

三井田 康記

平素より、本学の教育にご理解とご支援を賜り、ありがとうございます。

また、先日の保護者懇談会には多数ご参



加いただき、ありがとうございました。

前期試験も終わると、大学は夏休みに入り、今までにぎやかだった校舎は急に静かになります。

夏休みは学生時代のかげがえのない期間です。旅行やインターンシップ、ゼミなど、日ごろはできない体験を積むことができる貴重な期間です。

2回生は7月の半ばにプロジェクトゼミへの配属が決まりました。夏休み中に2回生3回生合同のゼミが始まります。3回生には先輩として、2回生を指導する役割が期待されます。

一方、4回生も大学4年間の集大成とし

ての卒業研究に本格的に取り組まなければならない時期にきました。夏休みの過ごし方が卒業研究や卒業制作のときばえを左右します。

今年度は卒業作品展を、大和高田市「さざんかホール」の展示室で、3月10日(土)、11日(日)に開催します。

その一角にプロジェクトゼミのコーナーも作ることを計画しています。ご期待ください。必ずや、4回生だけでなく、3回生、2回生も充実した成果をお見せできるでしょう。

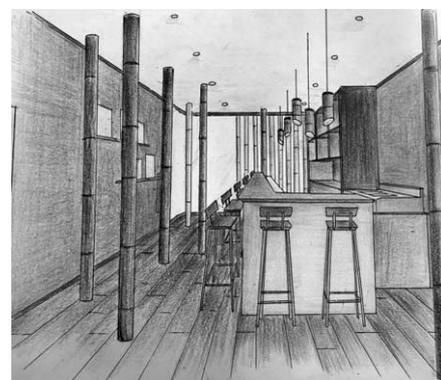
われわれ教員、全力で教育にあたる覚悟でいます。今後ともご支援を賜りますようお願いいたします。

## 学生デザインのサロンが地域の情報発信拠点に!

人間環境デザイン学科では、授業で学んだことを実践する機会として、毎年、様々な形で地域と連携した、まちづくりに取り組んでいます。今年も複数のプロジェクトが始動していますが、今回は、その一つ、「広陵町の移住定住サロンの内装設計」についてご紹介します。



今年7月、広陵町では、移住促進プロジェクトが始動しました。町の魅力をPRするために、町立図書館に併設された既存サロンを「移住・定住サロン」として改修し、情報発信の拠点とする予定です。このサロンの内装の基本設計を学生が行う機会を広陵町からいただき、3回生の設計演習の授業、および西山ゼミのゼミ活動で設計競技を実施しました。アイデアを練り直すこと1ヶ月。23案提出されたものの中から、選考を勝ち抜いた8案を広陵町職員の前で発表しました。みごと1位に選ばれたのは佐竹舞香さん作「かぐやカフェ」です。佐竹さんは選ばれた喜びを「自分が設計したアイデアが形になるなんて、嬉しい気持ちの反面、気が引き締まるおもいです。家族とともに完成を楽しみにしています。」と答えてくれました。



現在は、この「かぐやカフェ」の案を元に、佐竹さんも交えて実施設計が行われています。

今年9月オープン予定ですので、完成した際には、ぜひみなさん足を運んでみてください。

## 2回生「建築設計演習Ⅰ」初めての講評会!

7月31日(月)、8月1日(火)の2日間にわたり『建築設計演習Ⅰ』の課題講評会が行われました。2回生の建築まちづくりコース、インテリアデザインコースの特別推奨科目であり、例年履修生が多いのですが、今年度も53名の学生が履修しています。

昨年度の『建築図学』で学んだ基礎知識をもとに、学生自らが考え設計し、図面や建築模型を制作します。



今回の課題は、週末住宅と戸建て住宅でした。この日のために、ほとんどの学生は、夜遅くまで大学に残り、製図室で図面台に向かいひたすら

課題に取り組みます。

いよいよ講評会が始まると、学生一人ひとり、自分の図面と模型をならべ、5分程度のプレゼンテーションを行った後、教員から鋭い質問や批評を受けます。

2回生は、初めて大勢の前で設計内容を発表したため、とても緊張している様子でした。

今回選ばれた優秀作品は、10月21日(土)、22日(日)に開催される畿央祭にて展示されます。また、後期の『建築設計演習Ⅱ』では、二世帯住宅や図書館などの課題にも挑戦します。



## メッセージ

教育学部  
現代教育学科  
学科長

安井 義和

後援会の皆様には本学科の教育研究活動に変わらぬご支援・ご理解を賜っておりますことにお礼を申し上げます。ありがとうございます



います。

今年度の現代教育学科は3年前に定員増が実施され、完成年度である現在（2017年5月現在）の在籍学生数は857名になり、畿央大学学部生全体の38.7%をも占めています。大学全体では5学科ですが、現代教育学科の学生数は約4割です。今秋からは初めての特別支援教育実習も始まり、4回生の35名が参加します。教育現場では個々の園児児童生徒に応じた対応が多岐にわたり、この分野での専門知識をも備えた学生及び卒業生の頑張りが大いに期待されています。35名のうち、6名が今夏の教員採用試験において特別支援学校を第一希望に頑

張っています。現代教育学科の教育も年々充実してまいりましたが、更なる質的発展を目指して教職員一体となって邁進する覚悟です。

昨年度の夏、教員採用試験対策の水泳実技講習中の事故で、1人の学生が帰らぬ人となりました。ここに改めてご冥福をお祈りするとともに、事故の事実を深く受け止めお詫び申し上げます。現在水泳実技講習の在り方について全力で検討を重ねております。今後も引き続きご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## みんなで力を合わせて進路を切り拓く!

平成28年度も、教育学部8期生が優秀な成績を残してくれました。

36名が小学校教諭（奈良県18名、大阪府15名、堺市8名など）、4名が養護教諭（奈良県3名、三重県1名）、1名が特別支援学校教諭の採用試験に現役合格。合格率は、小学校61.0%、養護教諭30.8%、特別支援学校教諭50.0%でした。特別支援学校教諭

は畿央大学として初めての現役合格となりました。また、公立幼稚園・保育園は、24名中20名が現役合格、合格率は83.3%となりました。

「同じ夢に向かって頑張れる仲間や応援してくれる友達、指導して下さる先生方などたくさんの方に支えていただきました。」「畿央大学は縦の繋がり、横の繋がり

共に強く、友人をはじめ先生方との距離も近いアットホームな大学です。」「心から信頼できる先生、互いを高め合い尊敬できる最高の仲間に出会い、毎日の授業やサークル、様々な行事を通して4年間で大きく絆が深まりました。」

小さな大学だからこそ、みんなで力を合わせて進路



を切り拓くのが、我が畿央大学らしさです。この表れか、前期の授業期間中も、連休やちょっとした休みを使って多くの卒業生が誘い合って大学を訪ねてくれます。活躍している様子を伺い、とても頼もしく、成長を感じます。

今年も、面接、集団討論、小論文、模擬授業・保育、ピアノ、製作、絵画、読み聞かせ、マット運動、身体表現などの対策に、4回生は一丸となって取り組んでいます。



## 大阪教育大学附属池田小学校を訪問しました -6月15日(木)-

今年で8年目となるこの訪問は、実際の学校現場の様子を学ぶ機会であるとともに、附属池田小学校の「安全で安心できる学校づくり」について学ぶことができる貴重な機会なのです。

まず、各教室にわかれて授業を参観させていただきました。学生は、先生方の指導から多くのことを学ばせていただいたようで、「子どもが考えたり発表したりする時間をつくって、子どもが参加しながら受けられる授業だった」など、様々な



学びのコメントを残しています。また、児童の皆さんと過ごす中で、「先生!」と呼ばれて喜んでいる学生の顔が多く見られました。

午後、安井学科長よ

り平成13年に起きた痛ましい事件についてお話しいただき、亡くなられた児童8名を悼み献花をした後、学校内を見学させていただきました。

痛ましい事件に関わられた人々の思いとともに、この事件後の取り組みや「安全で安心できる学校づくり」について安井学科長から講義をいただきました。『子どもを一番に考えなければいけない』という言葉が心に響いた」という学生のコメントのように、教職という仕事の責任の重さも学んだ1日でした。





看護に対する関心がどんどんと深くなっており、「将来どのような看護師になりたいか」ということについても具体化して話してくれています。後期から、私も担任する学生たちの急性期援助論Ⅰを担当し、一緒に学ぶことになりました。今から、皆さんの反応が楽しみで待ち遠しい限りです。



看護医療学科 2 回生担任  
**須藤 聖子**

大学生生活も 2 年目を迎え、これまでより学生は課題に追われていますが、自分なりの学修方法を見つけて取り組んでいるようです。看護職を目指す上で日々の学修の積み重ねが大切ですので、今の学修スタイルを継続して行ってほしいと思います。今後も担任としてできるだけ、学修に取り組めるようにサポートしたいと思いますのでご家庭でもどうか温かいご支援をお願い致します。



看護医療学科 2 回生担任  
**寺田 美和子**

6 月の担任面談では 2 年生になり大学生活に慣れ、落ちついたお姉さん、お兄さんになったように感じました。レポートや小テストがあり大変ですが、「アルバイトを減らして勉強しています」という頼もしい言葉が聞けました。半面、進路や友人関係の悩みも出てきています。担任として気をつけていますが、ご家庭で気になることがあればご遠慮なさらず担任までご連絡ください。夏休み明けに元気な学生さんお会いできることを楽しみにしています。



看護医療学科 3 回生担任  
**堀内 美由紀**

前期は、目の前に迫った臨地実習に参加できることを目標に、より専門性を増した授業や演習に一生懸命取り組んでいました。不安はあると思いますが、学生たちの表情は一樣にフワフワしているように見えました。しかし短い夏休みを終え、今は緊張で胸がはち切れそうな状況ではないかと想像します。自宅ではその緊張から少し放たれることも必要だと思います。充実した臨地実習となるようご家庭でも引き続きご支援いただけますようお願い申し上げます。



看護医療学科 3 回生担任  
**祐實 泰子**

大学生生活も 3 年目となり、後期からの臨地実習に向けて様々な面で努力を積み重ねてきた半年だったと思います。面談の際には、現状がどれほどたいへんかを主張しながらも前に向かって進もうとする決意が伺え、入学したころの幼さはほとんど感じられないようになっていました。将来の目標も明確になってきており、看護師、保健師、助産師、そして養護教諭と、各々が希望通りの進路に進めるよう頑張っております。どうぞご家庭におきましてご支援賜りますようお願い申し上げます。



看護医療学科 3 回生担任  
**文 鐘聲**

3 年生前期の担任面談において特徴的だったのは、「2 年生までの勉強の積み重ねができていない不安」という意見でした。8 月中旬からの臨地実習（病院実習）に備え、知識を統合していく時期でしたので大変だったと思います。今はその成

果が出つつあるのだらうと思っています。実習は長丁場ですので心身の体調管理をサポートしてあげてください。また、具体的な進路についての検討を始める時期でもあります。ご家庭でもご助言をいただけると幸いです。



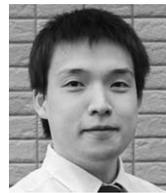
看護医療学科 3 回生担任  
**小林 智子**

3 回生になり課題をこなすのに必死な様子でしたが、進みたい方向も明確になりつつあり、自分のために頑張るといふ強い意志も感じられました。実習のためだけではなく、その先にある目標も見据えて頑張してほしいと思います。後期からは臨地実習が始まります。悩みながらも様々なことを感じたり、考えたりしながら一つでも多くのことを学び、成長してきてほしいと思います。実習中はかなりの緊張状態が続きます。ご家庭でも、心身両面においてご支援賜りますようお願いいたします。



健康栄養学科 1 回生担任  
**栢野 新市**

まだ学生生活が始まって数ヶ月ですが、クラスの中学生の友人関係も出来つつあり、楽しそうに毎日を送っているようです。授業の時もみんな協力し、一緒に頑張っている姿を目にします。バイトやサークルに参加している学生も多いですが、そういった時間も含めて徐々に毎日のリズムが出来つつある様子が見受けられます。夏休みは学外で様々な経験し、休み明けにはさらに成長した姿を見せてくれることと楽しみにしています。



健康栄養学科 1 回生担任  
**串田 修**

5～6 月にかけて面談を行いました。クラスの皆さんとは 4 月早々の宿泊研修でお会いして以来でしたので、この間（1～2 ヶ月ほど）の大学生活を伺いました。全体の印象として、専門的な学びに少し不安はあるものの、空きコマに自習をしたり、クラブ・サークルやアルバイトなどの課外活動をしたりと試行錯誤しているようでした。ライフスタイルは人それぞれですが、一人ひとりに大学での学びを楽しんでもらえるよう担任としてサポートしていきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



健康栄養学科 1 回生担任  
**熊本 登司子**

そろそろ大学生活にも慣れ、授業以外にもサークル、アルバイトと毎日忙しい日々を送りつつあるようです。前期面談では、高校生活と学習方法や環境の違いに戸惑いを感じながらも、一生懸命に取り組んでいこうとする姿勢がみられ、頼もしく感じました。これから日々の学習が進んでいきますといういろいろな悩みも増えてくることと思いますが、充実した学生生活が送れるよう精一杯サポートしていきたいと思っております。



健康栄養学科 2 回生担任  
**前原 佳代子**

2 回生になり、学生の皆さんに遅しさを感じます。2 年次は、課外活動、アルバイトなど興味・関心のある様々なことに時間を割ける学年だと感じます。また、専門科目、実験・実習が増えてきます。学生の皆さんが、本分の勉強を疎かにせ

ずに専門知識の修得に努められること、そして充実した学生生活を楽しく過ごされることを願っています。保護者の皆様には、引き続きご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



健康栄養学科 2 回生担任  
**中谷 友美**

2 年目も学生生活は楽しく充実しているようですが、サークル、バイト、勉強、特にレポートと時間の使い方に苦労している様子です。まだまだ泣き言を言うレベルのレポートではありませんので、これを機に効率良く物事を進める力を身に付けてほしいと思います。一方で、勉強や日々の過ごし方について、多くの学生が現状分析や課題設定を行って成長を感じました。今後も状況を見守りながら、必要なサポートを行って参ります。



健康栄養学科 2 回生担任  
**村木 悦子**

大学生活にも慣れ、友達同士助け合いながら楽しい毎日を過ごしてくれています。しかし、友達同士仲良くなりすぎて、授業中にもついついおしゃべりしてしまうようです。授業時間と休み時間のメリハリをつけ、周りのクラスメイトに配慮するようアドバイスしましたが、なかなか改善されないようです。定期試験の結果を見て、自分の置かれた立場に気づいてくれたらと思っています。担任として付かず離れずの関係で見守っていきたいと思います。



健康栄養学科 3 回生担任  
**並河 信太郎**

学習のペースは各自が工夫しながら確立できていく様子で、単位の取得はほぼ順調にできています。クラブや同好会、ヘルスチーム菜菜など課外活動に積極的に参加している傾向です。3 回生になり、それぞれの活動の中でリーダーシップをとる立場になることも多く、遅くなった印象です。希望進路は具体的な仕事のイメージが掴み切れないことも影響しているのか再考している学生が増加しています。今後、学外での実習の経験を積む中でより良い選択ができるようサポートしていきます。管理栄養士国家試験に向けて、既習科目を中心に過去の問題にできる範囲で取り組んでいくよう伝えています。



健康栄養学科 3 回生担任  
**上地 加容子**

課外活動を積極的に行っている学生は多いですが、試験のない教科もあり、昨年度に比べて余裕をもって学生生活を送ることができているようです。学外への臨地実習や就職活動を前にして、不安を感じている学生もいますが、臨地実習は就職活動の参考ともなる貴重な経験の場となります。暑い時期に、厨房内での実習は高温多湿となりやすいため、朝から水分をしっかり摂取し、今まで以上に体調管理に気を付けるよう、ご家庭におかれましてはご支援をよろしくお願い申し上げます。就職につきましては、将来を見据えて、本人に合った仕事を見つけてくれるよう、今後もサポートしていきたいと考えております。



健康栄養学科 3 回生担任

### 柴田 満

3 回生になり、専門科目の中でも基礎科目中心から応用科目への履修が増え、復習の大切さを感じている学生が多くなりました。勉強以外にも、クラブ・サークル・ボランティアなどの課外活動に熱心に取り組み、充実した日々を過ごしている様子が伺えました。この夏は、学外の施設に実習にです。緊張から疲れがでる学生もいますので、学科教員で精一杯サポートさせていただきます。ご家庭でのサポートもどうぞよろしくお願いいたします。



人間環境デザイン学科 1 回生担任

### 東 実千代

前期の面談を 6 月に実施しました。通学時間の長い学生さんも多いのですが、大学生生活に徐々に慣れてきた様子です。今年は希望コースが明確で、意欲のある学生さんが多い印象を受けました。出席状況は概ね良好、サークル活動への参加も活発で、まずは順調な滑り出しと安心しています。面談時には前期試験が心配との声が多数ありましたが、結果はいいか？担任としてこれから始まる 4 年間の成長が楽しみでなりません。精一杯支援してまいりますので、よろしくお願い致します。



人間環境デザイン学科 1 回生担任

### 西山 紀子

入学して 5 か月が経ちました。ほとんどの学生が授業を欠席することもなく、サークル活動、アルバイトと明るく元気に過ごしているようです。前期面談では、「大学生活で最も楽しいことは何か」の問いに、皆が「友達との交流」と答え、高校時代とは異なる授業形式や学習方法に戸惑うなか、励ましあい支えあっている様子が見えました。担任としては、一人ひとりの夢の実現に向け、友達に負けぬよう励まし、支えたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。



人間環境デザイン学科 2 回生担任

### 村田 浩子

先日の面談では学生達は始終笑顔で、和やかにしてくれました。思い返すと昨年入学間もない時期の学生面談では、緊張がこちらまで伝わるような固い雰囲気でした。1 年間の成長を感じうれしく思っています。これからそれぞれ目指す専門分野の授業が増えてきます。時には壁にぶつかることもあるかもしれませんが、乗り越えることで必ず力がつきます。学生の力を信じ、担任としてしっかりとサポートしてまいります。どうぞよろしくお願い致します。



人間環境デザイン学科 2 回生担任

### 加藤 信喜

4 月から新入生を迎え、2 回生は畿央大学の先輩として自覚も芽生えてきた頃ではないでしょうか。学科の特徴であるプロジェクトゼミは数年前から前期後半から始まり、ゼミによっては夏休み返上で取り組むこともあります。徐々に専門的なことを学び、建築・インテリア・アパレルの世界へと導かれることとなります。将来どのような方向に進んでいくのかという自分自身の進路と関わってくるわけで、重要な分岐点となるでしょう。しかしそれほど深刻になりすぎる必要もありません。

ん。「楽しく学ぶ」ことが一番大切だと思うからです。



人間環境デザイン学科 3 回生担任

### 藤井 豊史

大学生後半、それぞれの専攻も決まりよいよ専門課程のまっただ中です。講義も演習も難易度が上がり、なかには「解らない」と音をあげている学生諸君もいるかとは思いますが、理解の最大の障害は諦めで、「きっと自分にも解るはずだ」との信念さえあれば必ず霧は晴れます。デザインもまた同様、「自分にはセンスがない」と諦めずに努力さえ続ければ、ある日見違えるように成長した自分に気がつけるはずですよ。私もまた、彼らの大いなる成長のために、努力を続けるつもりです。



人間環境デザイン学科 3 回生担任

### 李 沅貞

2015 年 4 月に入学してから 5 回目の面談を行いました。コース分けに伴い、専門科目が増え、インターンシップの参加も決まり、公務員試験を含む資格試験に備えるなど、少し気の早い話になるかもしれませんが、就職活動に向け、頑張っている様子に嬉しさを感じました。この夏休みは本格的な就職活動の前に、それぞれの進路について冷静に考えてみる貴重な時間になりますよう、ご家庭におかれましては、ご指導ご支援のほどお願いいたします。



現代教育学科  
学校教育コース 1 回生担任  
(1 回生担任代表)

### 奥田 俊詞

入学しておよそ 5 か月が過ぎ、学生の皆さんは互いに親しく話せるようになり、不安そうな表情から明るい笑顔に変わった学生が多いように感じます。試験に対する不安はあるものの、授業にも概ね慣れてきているようです。このように和やかな雰囲気が増えてきている状況ですが、私たち教員には見えない悩みや不安を抱えている学生も、少なくはないと私たちは考えています。ご家庭で気になることがあれば、お知らせいただけるようお願いいたします。



現代教育学科  
学校教育コース 1 回生担任  
(1 回生学校教育コース担任代表)

### 八木 義仁

白浜の宿泊研修では、不安と期待の入り交じった手探り状態の様子で、どことなくごちなさのあった 1 回生ですが、2 か月ほど経った担任面談の時には、ずいぶんと大学生らしさを感じました。一人暮らしを始めた人も生活サイクルが落ち着いてきたようで、充実した毎日を送っているようです。ただ、高校までの学習と比べて、学修や試験などに、戸惑いを感じている人もいました。前期試験が終われば、その不安も晴れ、ますます大学生らしさが醸し出されるようになることでしょう。



現代教育学科  
学校教育コース 1 回生担任

### 小谷 恵津子

前期の面談では「毎日が楽しいです！」と笑顔で答えてくれる方が多く、学業を頑張りたいという声もたくさん聞くことができました。また、ボランティアに関心

を持ち、入学直後から子どもと関わる活動に積極的に参加している方が多かったことに、頼もしさを感じました。1 回生の間は時間的な面や気持ちの面で余裕があるからこそ、様々なことにチャレンジできます。夢に向かって自分の世界を広げていく背中を、保護者の皆様とともにサポートして参りたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



現代教育学科  
学校教育コース 1 回生担任

### 小林 佐知子

あっという間に前期が終わってしまいました。1 回生のみなさんは、時間の経過とともに学内で会ったときの笑顔やおしゃべりが増えたように感じます。新しい生活に慣れ、新しい人間関係を築き、前向きにがんばっているのだとうれしく見ております。後期が始まるまで、どんな時間を過ごしているのでしょうか。前期の生活を振り返ったり、普段できないことに挑戦したり、後期に向けて気持ちや生活リズムをつくらったりするなど、充実した時間を過ごしてほしいと願っています。



現代教育学科  
学校教育コース 1 回生担任

### 深田 将揮

前期の面談を通して学生の様子がよくわかりました。サークル活動を頑張っている学生、アルバイトを始めた学生、また、将来の夢のことなど、ゆっくり話をする機会が持てたことで前期の授業や指導にも活かされたと感じています。一方で、高校生の時とは違う学びに戸惑っている学生や取得免許などについての悩みも聞くことができました。面談では、具体的なアドバイスをしましたが、今後継続して、彼ら、彼女らのサポートをしたいと思っています。



現代教育学科  
幼児教育コース 1 回生担任  
(1 回生幼児教育コース代表)

### 大城 愛子

前期の面談では、多くの学生が大学生活にも慣れ、楽しく過ごしていると答えてくれました。気になることは、幼児教育コースでは幼保に加えて小学校や特別支援学校など取得免許の選択肢が多いことから、どの免許・資格に絞るか迷っている学生もいることです。取得を希望する免許や資格が多くなると授業や実習の負担も大きくなりますので、本人の意思を尊重しながらサポートしていきたいと思っております。保護者の皆様には、今後も温かい見守りとご支援をお願いいたします。



現代教育学科  
幼児教育コース 1 回生担任

### 辰巳 智則

多様な情報が氾濫している今日の社会では、個や集団、社会が向き合う現象に対し、どの情報が正しいのか否か、どの情報が改善に向けて有効なのか否かを見極める力が必要となります。これらを見極める力は、深い教養と専門性に裏打ちされた感性であるのかもかもしれません。大学での学びは最終的に、自らが求め、働きかけられない限り、深まらないものです。畿央大の研究室の敷居は高くはありません。学生にはその利点を活かして欲しいと願っています。



現代教育学科  
幼児教育コース1回生担任

### 三木 美香

初々しさを漂わせていた1回生の皆さんも、すっかり畿央大学の学生として堂々と学内を闊歩しています。入学以来学生さんの真面目さや潜在能力に感心してきました。最初に感じたのは春の宿泊研修です。造形活動やグループ学習では、初対面に近い関係にもかかわらず、アイデアを出し合い協力して課題に取り組み姿に触れ感動を覚えました。想像力、創造力、調整力、コミュニケーション能力など様々な力が問われる現代において大切な力です。その後も学生さんから刺激を受け、授業や面談等を通して様々な刺激を与えているつもりです。お子様の将来を全力で応援していきたいと考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



現代教育学科  
保健教育コース1回生担任  
(1回生保健教育コース代表)

### 小野 尚香

学生たちは、同級生や上級生とも温かい関係性をはぐくんでいるようです。面談では、将来の夢やサークルやクラブ活動での楽しさを語ってくれました。授業に対しては緊張しながらも、真剣に取り組んでいる様子です。学生たちは「思いあふれて」過ごしています。一人ひとりの個性や自主性を大切にしながら、未来に向かって心揺れ動きながら成長する学生たちを、担任として支えたいと思います。保護者の皆様にも、ご支援ご協力をいただきたく、どうぞよろしくお願い致します。



現代教育学科  
保健教育コース1回生担任

### 高田 恵美子

新任でまだまだ戸惑うことが多い自分と比べ、1回生のみなさんはSurfaceを使いこなし、畿央大学に溶け込み大学生活を楽しんでいます。面談では、養護教諭になりたいという思いを一人ひとり丁寧に語ってくれました。授業に加えアルバイトやサークル活動、通学時間など多忙な生活を送っている学生も多く、健康面だけが心配です。学生の夢の実現のために、保護者の方とともに良き伴走者でありたいと思っています。遠慮なくご連絡くださいますようお願いいたします。



現代教育学科  
学校教育コース2回生担任  
(2回生担任代表)

### 西端 律子

「高校と大学は違うことがよくわかりました」日々の授業、テスト、友人関係、実習のオリエンテーションなど自分の夢への階段、アルバイト、ボランティアなど、この1年で多くのことを体験し、自身の力にした様子を、面談で聞くことができました。しかし、体験したり勉強したりすればするほど、「自分はこの道でいいのだろうか」「もっと他の道もあるんじゃないだろうか」という気持ちも湧いてきます。自身で考え、悩む時間も必要ですが、ご家庭でも支援していただければ幸いです。



現代教育学科  
学校教育コース2回生担任  
(2回生学校教育コース担任代表)

### 西尾 正寛

学生面談で全員の状況を聞くことができました。大学での学習方法がわかってきた成果が1回生後期の成績に表れたとの話には嬉しく思いますが、アルバイトで忙しく十分に学習が出来ないまま1年が経ってしまった話を聞くと心配になりました。「教師になる」思いを強く表現する友人と自分を比べ、自分の夢や意志に不安を感じている学生もいます。色々な夢の抱き方を応援します。ご家庭でも見守ってあげてほしいと思います。



現代教育学科  
学校教育コース2回生担任

### 衛藤 晶子

2回生になると話し方や振る舞いから自信と余裕が感じられるようになりました。それぞれの将来に向けて、今何をしなければならぬのかを考え、行動しようとする気持ちが伝わってきます。時間割にもゆとりがありインターンシップに参加したり、ボランティア活動やクラブ活動に積極的に取り組んだり、時間を有効に使っている様子が見られます。後期からは免許取得にかかわる授業も増えてきますので、健康面に気をつけて目の前の課題を1つ1つ着実に成し遂げられるよう、保護者の方々と共に支えていきたいと思っています。



現代教育学科  
学校教育コース2回生担任

### 大久保 賢一

2回生になり、専門の授業や課題活動へ参加する機会が多くなり、様々なことを経験して大きく成長している時期であると思います。しかし、色々なことがわかり始めたからこそ、進路のことなどで迷いや不安を感じている者も少なくないようです。成長の過程で戸惑いや悩みを抱えることは自然なことですので、自分自身の課題に真摯に向き合っているのだとポジティブに評価していただければと思います。些細なことでも気軽に教員に相談するよう促していただければ幸いです。



現代教育学科  
学校教育コース2回生担任

### Randy Muth

今年の2回生は団結心が強く、グループ活動を円滑に行っています。やりたいことを明確に示し強い意思を見せています。多様な資格を取得するという大志を抱くことは良いことですが、その大変さを理解しているか、また、せっかくの大学生活を充実できず、大切な時間を逃さないかと心配しています。学生の支えとなれるよう、全力を尽くしたいと思います。また、保護者からの愛情ある声かけは不可欠です。希望と不安を抱えているお子様を励まして頂きたいと思っています。



現代教育学科  
幼児教育コース2回生担任  
(2回生幼児教育コース代表)

### 柏井 みづほ

2回生になり大学生活にも慣れ、サークル、アルバイトも適度にしながら生活しており、頼もしさを感じられるようになりました。幼児教育コースの学生は、教育学部の中でも一番早く、2回生の8月末から9月末まで学外実習に出

ます。保育所と施設での保育実習です。面談時に、初めての实習に臨む気持ちはと聞くと、「楽しみです」という人と、「不安です」という人に分かれました。毎年、実習が終わると、大きく成長した姿を見せてくれます。後期の始まりが楽しみです。



現代教育学科  
幼児教育コース2回生担任

### 中村 恵

前期の個人面談では、「大学が楽しい」「色々なことにチャレンジしたい」といった前向きな話を聞くことができてとても嬉しく思いました。また、1年間の大学生活を経験したことにより、将来の自分の姿をよりイメージしやすくなった人も多く、「資格取得の為に経験を積みたい」「実践に触れたいからボランティアに行っている」といった声も多く聞くことができて、大変頼もしく感じています。学生の皆さん一人ひとりが充実した日々を過ごせるように、精一杯サポートしていきたいと思ひます。保護者の皆様には、今後とも暖かい見守りとご支援をどうぞよろしくお願い致します。



現代教育学科  
幼児教育コース2回生担任

### 細越 寛樹

大学入学から1年以上が過ぎ、皆が生活のペースをつかめているようで安心しました。一方、希望進路については、入学前から変わらない学生、迷い始めた学生、変更を決めた学生、変更したいけど両親に相談できていない/意見が折り合わない学生、など様々でした。2回生から実習で現場に出ることが増え、学生も進路について真剣に向き合い直す機会が増えます。ご家庭でもお子様から実習や進路に関する話が出た際には、ぜひよく耳を傾けていただければ幸いです。



現代教育学科  
保健教育コース2回生担任  
(2回生保健教育コース代表)

### 古川 恵美

保健教育コースの2回生は、養護教諭、小学校教諭をめざしています。大学や地域における活動に積極的に参加し、いろいろなことに挑戦しています。養護教諭の専門科目「学校看護Ⅱ」では白衣の実習服を身に付け、広い看護実習室で学びました。キラキラ・いきいきとした表情で真摯に取り組んでいる姿を見て、一緒に頑張っていることと私自身も強く思っています。養護教諭以外の進路選択を、選ぶ方も出てこれると思います。今の学びは人生の宝物となるのではないかと考えています。学生の日々の思いを、保護者の皆様と共に支えていければと思います。よろしくお願い致します。

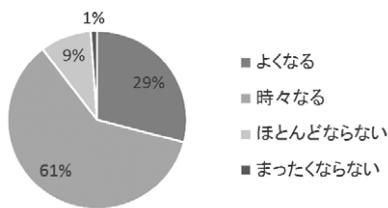


# アンケートへのご協力ありがとうございました。

今年度も保護者アンケートを実施させていただきました。お忙しい中ご協力いただきました保護者の皆様には心より御礼申し上げます。今年度のアンケート結果の特徴と、皆様からお寄せいただいた質問で多かったものをまとめさせていただきます。

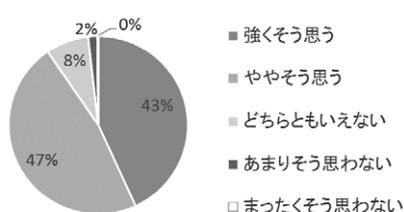
「畿央大学のことが家庭で話題になりますか」という設問に対して、「よく話題になる」「時々話題になる」と回答された方は、昨年を1ポイント上回り90%に達しました。

畿央大学について、家庭で話題になるか



続いて、「学生は畿央大学での生活に充実感を持っていると思いますか」という設問についても「強くそう思う」「ややそう思う」と回答された方の合計についても、90%と非常に高い割合になりました。

畿央大学での生活に充実感を持っているか



これらの結果は、学生とご家庭そして大学との関係が非常に良好であることを示していると思われます。学生の夢の実現をサポートしていくために一層良い関係を深められるよう努めて参ります。

保護者の皆様におかれましては引き続き本学の教育活動に対しご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

以下、保護者の皆様からの質問事項とその回答について、一部ご紹介致します。

**Q 学内のWi-Fi環境が悪い、スマートフォンからもアクセスできるようにしてほしい。**

**A** 学内のWi-Fi環境は、履修登録時などの一時的にインターネットへの接続が集中した場合、安定したネット環境のご提供が困難になる場合がございます。

学生のスマートフォンが学内のWi-Fiにアクセスできない点でございますが、学生

に貸与しておりますマイクロソフト社のタブレット端末「Surface」が今年度より全学年に行き渡ったことで、安定した通信環境を学生に提供するためにスマートフォンからのWi-Fiアクセスに制限をかけております。

基本的にSurfaceを大学に持参していただければ、スマートフォンで想定されている作業の大部分をカバーすることができると考えておりますので、スマートフォンの操作性に慣れている一部の学生にはご迷惑お掛けしておりますが、安定した通信環境を提供する観点でアクセス制限をおこなっております現状についてご理解願います。

**Q 車で道路を曲がる時、学生が止まらず、ダラダラ歩いているので大学のイメージダウンになります。**

**A** 前期、後期授業の開講前におこなわれるオリエンテーションで、全学部・全学年を対象に交通マナーの指導をおこなっております。この指導では、改正された新しい道路交通法を紹介するとともに、近年注目されている自転車事故の問題等も取り上げるようにしております。また、1回生に対しては、交通安全講座も設けています。

こうした指導や講座をおこなっていても近隣の住民の方から注意や苦情を頂戴することもあり、その際は全学生宛にメール等で注意喚起をしております。今後、さらにきめ細やかな指導を心掛けて参りますが、ご家庭でも交通安全のご指導の程、何卒宜しくお願い致します。

**Q 学生食堂のメニューを充実させてください。**

**A** 学生団体である「ヘルスチーム菜良」が食堂改善プロジェクト(教職員と畿友会(学生自治会)の代表で構成)を通じて、季節感を感じることができ、健康面に配慮したメニューの導入を委託業者に提案する取り組みをおこなっております。

今後もより良い食堂となるような取り組みを定期的に推進して参ります。

**Q ボランティア活動やアルバイト先の幹旋等も大学からしていただけると安心します。**

**A** ボランティアセンターでは様々な団体や学校・病院等からの募集情報を提供し、窓口での相談も受け付けております。

また、アルバイトの紹介は求人情報提供サイト「畿央大学アルバイト紹介システム」で一定の基準をクリアした安心・安全な求人情報のみを紹介しております。アルバイト就労にあたっては学業を疎かにしたり、健康を害したりすることのないよう指導し

ておりますが、就労時間数が長く学生生活に支障をきたしているケースも見受けられますので、ご家庭でもご指導の程お願い致します。

**Q 交通機関の遅延で授業に遅れた場合でも出席の扱いにしてもらえないと聞きました。なぜなのでしょう。**

**A** 本学では、授業時間数(通常15回)の3分の2を超えて出席すれば定期試験を受験でき、3分の1までの欠席では不利にならないことから、交通遅延を理由とした欠席を出席にする扱いはしておりません。ただし、科目によっては受講態度が成績評価の一部となっている場合がございますので、こうした場合には、「欠席連絡届」を提出することで、担当教員に事情を伝えることができるようにしております。なお、定期試験の場合、交通遅延による欠席は、追試験の対象としています。

**Q 実習中(理学療法学科)の学生へのフォロー体制は、どのようになされているのでしょうか？学生への関わりの程度は？実習先病院等への指導内容の依頼は統一されているのでしょうか？**

**A** 学生へのフォロー体制や関わりの程度でございますが、必ず一度は教員が実習先に直接訪問して、学生と実習指導者に対して個々に話し合う機会を設けております。その他、メールや電話等で学生や実習指導者と連絡を取り合うことで、実習の進捗状況を把握するようにしております。さらに、必要に応じて実習先を複数回訪問し、指導をできる体制を整えております。

実習先病院への指導内容の依頼については、年に一度、臨床実習指導者会議にて大学教育全般に関する事、実習内容、指導方法などについて共有しております。またこれとは別に、各実習先において、実習指導者が次の指導者に向けて指導ポイントや学習内容の引き継ぎ指導についてご対応いただいております。

**Q 学生生活に関する指導はどのようなものがあるのでしょうか。**

**A** 前期、後期授業の開講前におこなわれる学生生活オリエンテーションでは、学生生活を送る上でのルール・マナーの見直しを行っております。また喫煙に関するマナーやアルコール依存への注意喚起等もおこなっております。特に前期のオリエンテーションでは、学生生活上のトラブル対策についてまとめた小冊子を全学生に配布しています。

# 第15回 畿央祭 2017年 10月21日(土)10:00~17:00 22日(日)10:00~16:00

## テーマ：虹～15th anniversary～

今年の畿央祭のテーマは「虹～15th anniversary～」です。

私たち畿央祭実行委員会には、6つの部署とそれらをまとめる統括の合計7つの役割があります。

一人ひとりが個性豊かな様々な色の光を放ち、お互いを照らし合うことで、また違った良い色ができるように、実行委員全員が協力して今年の「色」を出し、より良い畿央祭をつくっていきます。

畿央祭は多くの方々の協力なしには成り立ちません。畿央祭に関わってくださる全ての方々への感謝の気持ちを忘れず、207名の実行委員が一丸となって頑張ります。

ぜひ、お越しください!!  
第15回畿央祭実行委員会



## 授業日カレンダー

注：補講はふだんの授業曜日・時間に限りなく6時限目や土曜日、祝日などに実施される場合があります。  
注：休業日(日曜日・授業のない祝日)の事務取扱は行っておりません。  
注：※印のついた日はキャンパスに入ることできません。■は休講日

大学での授業は、前期・後期各15回行われます。①～⑯は授業曜日ごとの授業週数を表わしています。⑮⑯週の最終授業期間は、定期試験、平常授業、補講が組まれます。ふだんの時間割と異なることもありますので、この期間の時間割は、前期は7月中旬、後期は1月中旬までに掲示します。

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1金	前期成績・後期学納金納入票発送	1日	1水⑥	1金⑨	1月 元日 ※	1木⑮	1木
2土		2月 ②履修登録変更期切	2木⑥	2土⑨	2火 ※	2金⑯	2金
3日	3火②	3金⑤ 授業日(文化の日)	3日	3日	3水 ※	3土⑯	3土
4月	4水②	4土⑥	4月⑩	4月⑩	4木	4日 授業	4日
5火	5木②	5日 指定校・社会人入試 ※	5火 補講日	5火 補講日	5金⑬	5月⑯ 業	5月
6水	6金②	6月⑥	6水⑩	6水⑩	6土⑬	6火⑯ 期	6火
7木	7土③	7火⑦ 履修取消期間	7木⑩	7木⑩	7日	7水⑯ 間	7水
8金	8日	8水 補講日	8金⑩	8金⑩	8月 成人の日	8木⑯	8木
9土	9月 ③ 授業日(体育の日)	9木⑦	9土⑩	9土⑩	9火⑬	9金	9金
10日	10火③	10金⑥	10日 専攻科入試	10日 専攻科入試	10水⑬	10土	10土 一般入試
11月	11水③	11土 公募推薦入試	11月⑪	11月⑪	11木⑬	11日 建國記念の日	11日
12火	12木③	12日 公募推薦入試	12火⑪	12火⑪	12金 休講日(試験会場設営)	12月 試	12月
13水	13金③	13月⑦	13水⑪	13水⑪	13土 大学入試センター試験 ※	13火 期	13火
14木	14土④	14火⑧	14木⑪	14木⑪	14日 大学入試センター試験 ※	14水 間	14水 卒業式リハーサル
15金	後期オリエンテーション 15日 AO入試・編入・専攻科入試 ※	15水⑦	15金⑪	15金⑪	15月⑭	15木	15木 卒業式・卒業パーティ
16土	16火④	16木⑧	16土⑪	16土⑪	16火⑭	16金	16金
17日	17水④	17金⑦	17日	17日	17水⑭	17土	17土
18月	敬老の日 18水④	18土⑦	18月⑫	18月⑫	18木⑭	18日	18日
19火	19木④	19日 公募推薦入試	19火⑫	19火⑫	19金⑭	19月 一般入試	19月
20水	20金 畿央祭準備 後期学納金納入期日	20月⑧	20水⑫	20水⑫	20土⑭	20火	20火
21木	21土 畿央祭	21火⑨	21木⑫	21木⑫	21日	21水	21水 春分の日
22金	前期卒業式	22日 畿央祭	22水⑧	22金⑫	22月 一般入試	22木	22木
23土	① 授業開始(秋分の日)	クローンキャンペーン 催し日(午後)	23木 勤労感謝の日	23土⑫ 授業日(天皇誕生日)	23火 一般入試	23金	23金 後期成績、次年度前期学納金納入票発送
24日	AO入試・大学院入試 ※	24火⑤	24金⑧	24日	24水 補講日	24土	24土
25月	①	25水⑤	25土⑧	25月⑬	25木 一般入試	25日	25日
26火	①	26木⑤	26日	26火 補講日	26金⑮	26月	26月
27水	①	27金④	27月⑨	27水	27土⑮ 最終授業期間	27火	27火
28木	①	28土⑤	28火⑩	28木	28日	28水	28水
29金	①	29日	29水⑨	29金 ※	29月⑮	29木	29木
30土	②	30月⑤	30木⑨	30土 ※	30火⑮	30金	30金
		31火⑥		31日 ※	31水⑮	31土	31土

## 後援会 新規事業について

後援会では、今年度より新規事業として家計急変奨学金と学生チャレンジ事業を実施し、畿央大学生を経済的にサポートします。

**家計急変奨学金**は、家計の急変により授業料等の納付が困難となった学生に奨学金を支給することにより、修学の継続を支援することを目的とします。要件としては、学費を負担している父母または保証人がお亡くなりになられた場合、もしくは重度後遺障害を生じた場合としています。

また、**学生チャレンジ事業**は、積極性や自主性を有した社会に貢献できる人材を育成するため、学生自らが企画立案する新たな目標に向かった活動に対して支援することを目的とします。事業は、文化・学術活動や地域貢献・ボランティア、国際交流・海外留学、起業・地域活性化など本事業の趣旨に合う目標を設定した活動とします。学生チャレンジ事業は募集期間が2017年10月15日までとしており、書類選考とプレゼンテーションにより審査を行い、採用されれば諸経費の一部について最大10万円を上限として支給されます。畿央生らしい活動が申請されることを期待しています。

## 冬木学園への ご支援のお願い

冬木学園では、教育・研究環境の整備及び基金の充実を目的とする募金へのご協力を広く皆様方をお願いしております。

本学園の取り組みをご理解いただき、格別のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

### ◎ 税額控除の適用について

平成24年度より本学園は、寄付税額控除制度の適用を受けることのできる学校法人として文部科学大臣より証明されています。個人の方が支出した寄付金について、確定申告時に税額控除制度の適用を選択した場合、以下により算出された額が所得税額から控除されます。

$$(税額控除対象寄付金^{※1} - 2,000円) \times 40\% = \text{控除対象額}^{※2}$$

- ※1 総所得額の40%まで
- ※2 所得税額の25%まで

### ◎ 寄付のお申込方法

法人事務局総務部(担当：植村・竹本)にお問い合わせ下さい。

TEL : 0745 - 54 - 1602

E-mail : soumu@kio.ac.jp